2025 年 8 月 31 日　　（朝 10:30-11:30）

聖 日 礼 拝

司会　城尾マコト

前 奏	全員黙祷　「新聖歌 23 番」	ヒムプレヤー
招 詞	ローマ書 14 章 13～14 節(新 251 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌　60 番」	ヒムプレヤー
主の祈り		全 員
使徒信条		全 員
交読文	新改訳 28 番 詩篇 91 篇 902 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 20 章 7 節(旧 102 頁)	司会者
讃美歌	新聖歌 102 主は命を	ヒムプレヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレヤー
讃美歌	新聖歌 112 カルバリの十字架	ヒムプレヤー
メッセージ	「御名を呼ぶ者は救われる」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 221 ああ主の瞳	ヒムプレヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷　新聖歌 59 番	

Youtube　Facebook　HomePage

出エジプト記 20 章「御名を呼ぶ者は救われる」

十戒の第3戒

「あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。」この戒めは、単に神の名前を口にするなということではありません。軽んじたり、自分の利益のために利用することを禁じています。呪いや占い、偽りの誓いに神の名を使ったり、「神が言った」と虚偽を語ったり、形式的に口にしながら心は神に背を向けていることなどです。つまり「神の名＝神ご自身」をどう扱うかが問われているのです。

神様の御名の由来

出エジプト記 3 章で、神様はモーセに「わたしは、有って有る者」と名乗られました。ヘブライ語では「エヒイェ（私は存在する）」で、私たちが神様を指すときは「ヤハウェ（彼は存在する）」となります。これが神様の御名（YHWH）です。ユダヤ人たちはこの御名を直接唱えることを避け、「アドナイ（主）」と読み替えました。そのため日本語聖書で「主」と訳されている箇所の多くは、原典では神様の聖なる御名が記されているのです。

現代における「神」という言葉

現代のアニメや漫画では「神」が悪役として描かれたり、人間が「神」を超える存在として描かれることがあります。クリスチャンとしてこれらにどう向き合うべきでしょうか。ローマ 14 章の原理から、フィクション作品自体は本質的に罪ではありませんが、個人の良心が判断し、他のクリスチャンへの配慮が必要です。重要なのは文化を一方的に否定するのではなく、「御名をみだりに唱えない」という戒めの真の意味を考える機会として捉えることです。

救いへの招き

詩篇 105 篇は「主にむかって歌え、その聖なるみ名を誇れ」と語り、ヨエル書 2 章は「すべて主の名を呼ぶ者は救われる」と約束しています。これは第 3 戒と矛盾しません。「みだりに呼ぶ」とは軽率に、自己中心に神を利用することで、「救いを求めて呼ぶ」とは心からの信頼と敬意をもって助けを求めることです。前者は神を自分の道具にすること、後者は自分を神にゆだねることです。神様は真実に御名を呼ぶ者を決して見捨てられません。

城尾淳一